



2024年8月7日

各位

会社名 株式会社アドバンスト・メディア
代表者名 代表取締役会長兼社長 鈴木 清幸
(コード：3773)
問合せ先 専務取締役経営推進本部長 立松 克己
(TEL. 03-5958-1031)

データセンター設立及びデータセンターに関する投資計画のお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、データセンター設立及びデータセンターに関する投資計画を決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. データセンター設立の目的

当社グループは、2024年3月期から2027年3月期をBSR拡大期とし、BSR拡大期の最終年度では売上高100億円、営業利益25億円の実現を目指しております。当社グループを取り巻く事業環境においては、生成AIのビジネス領域の更なる拡大が予想され、これに伴い音声認識技術の価値が益々高まるものと想定しております。当社グループは、創業から領域を特化して音声認識エンジンの開発に取り組んできました。27年間で蓄積してきた音声データ・言語データ・研究データ等（以下「データ等」）は膨大となっており、今後保有するデータ量が指数関数的に増大することが予想されます。これらデータ等は、当社グループの持つ技術力の源泉であり、それらを安定的かつ安全に蓄積するストレージを確保することは重要な経営課題であると考えております。

また、当社グループの持続的かつ飛躍的な成長に向けて、GPUサーバー^{注1)}投資による生成AIビジネスへの取組みを強化すること、データ等を自社環境のなかで万全なセキュリティーのもとで確保し、AI音声認識技術及び生成AIなどのAI技術の研究開発を加速させることも重要な課題と考えております。今後それらビジネスの具体的展開にあたり、サーバービジネスの環境についても整備してまいります。

以上を踏まえ、今後各種条件に適した物件を賃借し、データセンターに関する投資を行ってまいります。その詳細は以下のとおりです。

(1) GPUサーバー投資による生成AIビジネスへの取組み強化

AI音声認識技術及び生成AI技術の向上には、データ等を高速に処理し学習させるGPUサーバーが重要となります。現状でも、GPUサーバーを活用し技術力向上に取り組んでいるものの、今まで以上にそのサイクルを加速させるため、中長期で増強するGPUサーバーを安定稼働させるためにデータセンターを設立いたします。

あわせて、AI音声認識以外の生成AI技術を含めた新たなAI技術への取組みを強化してまいります。

(2) AI音声認識に重要なデータ等の蓄積、安全性の確保

AI音声認識AmiVoice[®]は、音声認識ソフトウェア/クラウドサービス市場において国内シェアNo.1^{注2)}となっております。また、コールセンター、議事録、医療、モバイル、建設・不動産等、幅広いビジネス分野において、累計で約25,000社（施設）・約200,000ライセンス（ユーザー）の実績があります。

これらは、設立以来27年間において、音声認識精度向上に重要なデータ等を蓄積し続けてきたこと、及びそれらを活用して音声認識の技術力の強化に継続的に取り組んできたことが大きな要因となっております。競合他社の追従を許さない競争力の源泉であると考えております。

よって、今回データセンターを設立し、現状の豊富なデータ等及び今後増大が見込まれるデータ等の安



全性を確保した上で蓄積し続けていくことで、競争力及び事業の成長性を高めてまいります。

(3) サイバーセキュリティ対策

昨今様々な企業において、サイバー攻撃によって事業活動が停止・遅延しております。当社グループにおいても、サイバーセキュリティ対策は事業継続及び顧客からの継続的な信頼を確保するために非常に重要な取り組みであると認識しております。現状においても対策をしておきトラブルなどは発生していませんが、今後のさらなる事業拡大に伴い顧客企業数・ユーザー数の大幅な増大が見込まれる中で、データセンターを設立することでサイバーセキュリティ対策の強化に繋げてまいります。

(4) 新規ビジネス

当社グループは、「既存ビジネスの拡大」と「新規ビジネス・M&A」による事業拡大を計画しております。今回のデータセンターを設立し活用することで、新規ビジネスの創造やM&A対象企業とのシナジー強化に取り組んでまいります。また、専用環境での弊社 SaaS 利用を希望するユーザー様向けの環境提供を視野に入れ、データセンター事業への進出も選択肢の一つとして検討してまいります。なお、現時点において、具体的に決定した M&A 案件はございません。

注1) GPU とは「Graphics Processing Unit」の略で、画像処理装置のこと。GPU は並列処理による圧倒的な処理スピードを特長としており AI 開発やディープラーニングの分野で活用されています。これを複数搭載し、大量のデータを高速に処理できる機器が GPU サーバーです。

注2) 出典：合同会社 ecarlate 「音声認識市場動向 2024」音声認識ソフトウェア/クラウドサービス市場

2. データセンターに関する投資計画の概要

総投資額	約 50 億円
場所	非公開 (国内)
稼働時期	2025 年 4 月 (予定)

3. 資金調達等

本投資計画を実行する資金につきましては、当面は自己資金で実行する予定であるものの、計画の進捗や当社の資金状況に応じて銀行借入れ等を含めて資金の手当てを行う予定であります。なお、今後の資金調達等が開示基準に該当する場合は、適時適切に開示いたします。

4. 今後の見通し

本件による 2025 年 3 月期連結業績予想、及び 2027 年 3 月期 (BSR 拡大期の最終年度) における中期目標売上高 100 億円、営業利益 25 億円への影響は軽微であります。

本データセンター設立によって、AI 音声認識技術及び生成 AI 技術の研究開発の強化につながり当社グループの中長期的な企業価値向上に資するものと考えております。

以 上